

目次

プロローグ	vii
-------------	-----

I 臓器別検査—テクニックとその理論 1

1 肝の観察 2

- 肝病変の見落とししやすい部位 2
- 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法） 2

1 観察のための基礎知識 3

- キーポイント 3
- 全般的注意 3

2 検査手順とテクニック 4

3 検査手順の大図解 6

4 テクニックとその理論 12

- A 描出に適した拡大率 12 / B 観察に有効な画面の見方 13 / C プローブの振り方 14 / D 縦断・横断 2 方向による観察 15 / E プローブを置く位置 16 / F 左葉外側端を意識した走査 18 / G えぐり走査 20 / H 右葉外側縁を意識した走査 23 / I 体位変換の利用 24 / J 右葉の下端部（エッジ）の観察 29 / K 直交する 2 方向での観察 30 / L 呼吸の調節 31 / +1-1 腫瘍の存在部位の判断 33 / +1-2 拡大と高周波数プローブの利用 36

2 胆嚢・胆管の観察 38

◇ 胆嚢の観察 38

- 胆嚢病変の見落とししやすい部位 38
- 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法） 38

1 観察のための基礎知識 39

- キーポイント 39
- 全般的注意 39

2 検査手順とテクニック 40

3 検査手順の大図解 41

4 テクニックとその理論 44

- A 長軸短軸 2 方向走査と多重反射の除去 44 / B 体位変換による胆石とポリープの鑑別 46 / +1 高周波数プローブの利用 47

◇ 胆管の観察 48

- 胆管病変の見落とししやすい部位 48
- 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法） 48

1 観察のための基礎知識	49
■ キーポイント	49
■ 全般的注意	49
2 検査手順とテクニック	50
3 検査手順の大図解	51
4 テクニックとその理論	54
A 左下側臥位での検査	54
B 解剖学的な走行に従って検査する	56
C 体位変換後、再度描出を試みる	57

3 脾の観察 58

■ 脾病変の見落とししやすい部位	58
■ 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法）	58

1 観察のための基礎知識	59
■ キーポイント	59
■ 全般的注意	59
2 検査手順とテクニック	60
3 検査手順の大図解	62
-1 普通体型	62
-2 痩せ体型	65
-3 肥満体型	68
4 テクニックとその理論	73
A 脾全体を観察する	73
B プローブの圧迫による消化管ガスの除去	74
C 体位変換と呼吸の調節による消化管の移動	74
D 目安となる血管で脾体部を確認する	75
E 体型によってアプローチ法を変える	77
F 呼吸の調節	82
G 縦断像による脾頭部の描出	84
H 呼吸の調節	86
I 左下側臥位での検査	87
J 横断像による脾頭部の描出	88
K 脾尾部へのアプローチ	89
L 経脾的観察	91
M 前腹壁からの観察と体位変換の利用	92
N プローブによる結腸ガスの圧排	98
O 胃充満法	99
+1 高周波数プローブの利用	100
■ 脾体尾部の境界を大動脈左縁とする新たな定義の問題点	102

4 脾の観察 104

■ 脾病変の見落とししやすい部位	104
■ 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法）	104

1 観察のための基礎知識	105
■ キーポイントと全般的注意	105
2 検査手順とテクニック	106
3 検査手順の大図解	107
4 テクニックとその理論	108
A 解剖学的位置関係	108
B 検査の限界	109

5 腎の観察 110

■ 腎病変の見落とししやすい部位	110
■ 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法）	110

1 観察のための基礎知識	111
■ キーポイント 111	
■ 全般的注意 111	
2 検査手順とテクニック	112
3 検査手順の大図解	114
4 テクニックとその理論	116
A 横断・縦断 2 方向による観察 116 / B プローブの可動範囲の確保 119 /	
C 呼吸の調節とプローブによる圧迫 120 / D 体位変換による臓器の移動 121 /	
E 経肝的観察（音響窓の利用） 123 / F 体位変換による腎の移動 124 /	
G 体位変換による腸管の移動 125 / H 経脾的観察（音響窓の利用） 127	

6 副腎の観察

■ 副腎病変の見落とししやすい部位	128
■ 一般的な検査の流れ（患者体位と走査法）	128
1 観察のための基礎知識	129
■ キーポイント 129	
■ 全般的注意 129	
2 検査手順とテクニック	129
3 検査手順の大図解	129
4 テクニックとその理論	129
A 左下側臥位での検査 133 / B 肋骨弓下からのアプローチ 134 /	
C 心窩部縦断走査による検査法 137 / D 心窩部横断走査による検査法（左副腎） 138 /	
E 経脾左腎上極アプローチ 139	

II

ルーチン検査

142

7 ルーチン検査

■ 超音波ルーチン検査で見落とししやすい部位	142
1 推奨するルーチン検査法	142
■ ルーチン検査の流れ（概略） 143	
2 ルーチン検査の流れ	144
3 検査手順の大図解	146
4 テクニックとその理論	157
A ルーチン検査法を定める 157 / B 観察の範囲について合意を得る 157 /	
C 上腹部ルーチン検査の要件 158 / D 体位変換の必要性 158 /	
E 体位変換の順序 159 / F ルーチン検査にかかる時間と件数 160	
■ Key 画像一覧	162
■ 超音波学会および検診学会で撮像を推奨する Key 画像について	163

■ 隣描出上達の心得

164